

鎌倉散策・見どころ

「江ノ電・極楽寺駅」

関東の駅百選の一つで、趣のある木造の駅舎。しばしばTVドラマなどに登場する。

「極楽寺」

北条重時（義時の三男）が京都から忍性（にんしょう）を招き1259年に創建した寺。

火災等でほとんどの建物が消滅し、現在は吉祥院の建物が極楽寺の本堂として残るのみ。

「極楽寺坂切通」

鎌倉七口と呼ばれる切通の一つ。13世紀後半に開かれたと思われ、京都方面から東海道を經由して鎌倉に入る重要な入口。江戸時代以降拡幅が行われ、開削当時の面影はない。

「成就院」（じょうじゅいん）

北条泰時（義時の長男）が1219年創建したと伝えられる寺で、最近縁結びの寺として若い人の参拝も多い。境内から望む由比ガ浜と鎌倉市街の景色は一見の価値あり。



「御霊神社」（ごりょうじんじゃ）

源義家の家臣・鎌倉権五郎景政を祀る神社で、権五郎様と俗称される。神社の門前を江ノ電が横切っており撮影スポットの一つとして知られる。

「長谷寺」

実際の創建時期は不明であるが、同寺の梵鐘は1264年の銘を持ち、「長谷寺」の寺号が確認できる最古の資料。本尊「十一面観音菩薩像」は高さ9.2mで、木造では日本最大級。アジサイをはじめとする花の多彩さと眺望でも有名。

「甘縄神明神社」（あまなわしんめいじんじゃ）

鎌倉で最も古い神社と言われる。源頼義が相模守として下向の折、当社に子授かりを祈願、そして子・義家がこの甘縄の地で生まれたという。頼朝、政子などの信仰が篤かった。

「鎌倉文学館」

鎌倉三大洋館の一つ。旧加賀藩主、前田家16代利為（としなり）により昭和11年に建てられた別邸を鎌倉市が寄贈を受け、昭和60年以来、文学館として活用。建物は国の登録有形文化財で、広大な庭園では5月中旬にはバラが見頃を迎える。

「和田塚」

1213年和田義盛は北条義時の挑発を受けて挙兵に追い込まれ、幕府軍を相手に鎌倉で戦うが敗死し、和田一族は滅亡した（和田合戦）。そしてここに葬られたと伝わる。

